

文化庁移転協議会幹事会（第5回）議事要旨

日時：平成 30 年 8 月 6 日(月)16:00～16:30

場所：旧文部省庁舎 2 階文化庁特別会議室
文化庁地域文化創生本部 3 階会議室

出席者

中岡文化庁次長，伊藤内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補，高橋内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長，清水文部科学省文部科学戦略官（併）内閣官房（文化庁移転等担当），岡村文部科学省大臣官房政策課長，杉浦文化庁長官官房政策課長，中山内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官，三浦内閣官房参事官，山内京都府副知事，岡田京都市副市長，加藤内閣官房内閣人事局内閣参事官（オブザーバー），中島財務省主計局主計官（オブザーバー），嶋田財務省理財局国有財産企画課長（オブザーバー）

議事

議題に入る前に，文化庁（杉浦政策課長）から，文化政策の動向と平成 29 年度先行移転に係る検証について報告があった。

（１）「新・文化庁における文化政策の展開と本格移転先庁舎の整備について（素案）」について

事務局（清水文部科学戦略官）から，「新・文化庁における文化政策の展開と本格移転先庁舎の整備について（素案）」に関する説明があった後，協議を行った。その結果，幹事会として「新・文化庁における文化政策の展開と本格移転先庁舎の整備について（案）」を取りまとめ，次の文化庁移転協議会に示すこととなった。

（主な意見）

- 具体的な建物の整備についてだが，6 月の府議会において，基本・実施設計等施設整備に係る補正予算を提案し，可決いただいたので，しっかり手続きを進めていきたい。文化庁の意見等も踏まえつつ，よりよい施設として完成を早期に図ってまいりたい。
- 京都市として，費用面での協力はもちろんだが，建築の許認可を担当する立場からも，決して余裕のあるスケジュールだとは思わないので，緊密に連携を図ってまいりたい。

（２）文化庁の全面的な移転に向けた地元の協力について

京都府（山内副知事）から，「文化庁の全面的な移転に向けた地元の協力について」に

関する説明があった。

(主な意見)

- 先行移転である地域文化創生本部への人的協力については、京都府・京都市から各 5 名、関西広域連合の各府県市から 6 名、関西経済連合会を含めた地元経済界、商工会議所等からも 4 名と、地元を挙げての支援体制が一定進んできたのではないかと考えている。それぞれお互いのメリットを活かしつつ、国の文化行政を地元としても大いに支えて一緒に作り上げてまいりたい。
- 文化関係独法については、昨年 7 月の取りまとめにおいて広報発信、相談に係る機能を京都に設けることについて、効果を含めて具体的に検討を進めるとしている。現在、協議・調整中と聞いているが、積極的な検討をお願いしたい。
- 文化庁職員の受入についても、文化庁から情報提供いただき、京都府・京都市・経済界とが一体となって、今後具体的な調整をさせていただきたい。

(3) その他

伊藤総括官補から、まち・ひと・しごと創生本部事務局としても文化庁の京都移転の成功に向けて引き続きバックアップすること、京都府、京都市には、新たな文化政策の展開や、文化庁への人的協力、職員の住環境の確保等、引き続き協力をお願いしたい旨の発言があった。

(以上)